

人は動物、体は自然

(1) 体は自然

- ① 未病と発作：私の疾病観
← 未病：橋本敬三 + 発作：漢方古方派
- ② ツボの形
- ③ ツボの広がり = 負荷分担システム

(2) 治療は対話

- ◎患者さんの体をゆるめることが基本
- ①感受性に合わせる
- ②リアルタイム・コミュニケーション
- ③効いていれば、呼吸が深くなる！
(副交感神経優位な状態?)
- ④治療後、顔がかがやいたか
- ⑤次の日の朝の寝覚めが良かったか

(3) 鍼は引き鍼

◎鍼の手順の三原則

1. 手足に引く
2. 陽に引く
3. 下に引く

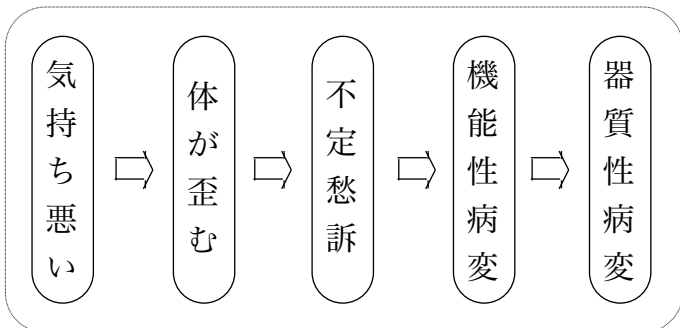
※3. に注意しながら1. と2. を組み合わせると
手足 (陽→陰→陽)
→頭胴 (陽→陰→陽)
→手足 (陽→陰→陽)

・応急処置の原則

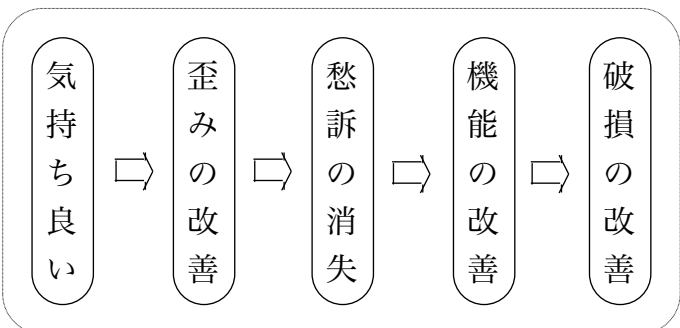
「遠くに強く引く」 (局所は軽く)

☆手順と息の深さに注意しながら施術

(1) ① 1. 操体・橋本敬三の疾病観 「未病の状態の変化」として考えるとわかりやすい



「気持ち悪い」と「体が歪む」
が「病」の出発点



「気持ち良い」と「歪みが消える」
が「治療」の出発点

動き、重さ、皮膚などのキッカケを利用して
気持ちよい格好をさがし息が深くなるのを待つ

「抑圧への反動」と「原初的快感」を区別する！
(後味が悪い) (後味が良い)

